

「2019 IHS-Markit - ICEP 合同セミナー」開催のご案内

2019年8月9日

一般財団法人石油開発情報センター

拝啓、

残暑の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご厚誼にあずかり、厚く御礼申し上げます。

さて、例年ご案内申し上げております IHS-Markit 社との合同セミナーですが、今年は、「Energy Outlook Seminar : 来たる変化とは」として、下記のとおり開催することになりました。

つきましては、皆様のご参加を賜りたくご案内申し上げます。

敬具

記

1. 日時 : 2019年9月3日(火) 13:30 ~ 17:15
受付開始 : 13:00~
Network reception : 17:15~
2. 場所 : 東京コンベンションホール
住所 : 〒104-0031 東京都中央区京橋 3-1-1
東京スクエアガーデン 5F (大ホールB)
URL: <http://tokyo.conventionhall.jp/access.html>
Tel : 03-5542-1995 (予約/お問合せの番号です)
3. 概要 : 現在起こっている米中貿易戦争や世界的なクリーンエネルギーへの潮流の中で、エネルギー上流開発企業各社は、事業ポートフォリオにおけるバランスがとれた高度な経営判断や電子化への対応をした上でなお投資家への還元を求められています。これらの問題や成功事例を分析することで、既存または新規の事業者や投資家の皆様に成功への道筋を見出していただくことが可能となります。本セミナーにおいては事業機会を逃さず競合に打ち勝つための世界のエネルギー市況に関する深い考察を提供させていただきます。

4. プログラム： 次頁参照。
5. 使用言語： 英語（通訳無し）
6. 参加費用： 無料
7. 連絡先： セミナー参加申し込みは、添付の参加連絡票をメール：
support@icep.or.jp または Fax：03-4520-8667/03-5244-4499 により送
付願います。
なお、参加申し込み期限は、2019年8月31日（金）17:00 までとさ
せていただきます。

以上

「2019 IHS Markit - ICEP 合同セミナー」プログラム

— Energy Outlook Seminar : 来たる変化とは —

13:00～	受付
13:30	開会のご挨拶 <p style="text-align: right;">Akira Suzuki, President, ICEP Smarco Ho, Vice President, IHS Markit</p>
13:40	基調講演 – 石油・ガス業界におけるデジタル変革 <p>石油&ガス事業におけるデジタル化の動向と独立系石油会社の成功事例について概説し、特に優れた企業の実例を紹介します。</p> <p style="text-align: right;">David Hicks, Senior Vice President, Upstream Energy, IHS Markit</p>
13:50	世界の石油市場に見られる新たな動き <p>エネルギー業界全体がそうであるように、世界の石油市場も大きく変わりつつあります。第一に挙げられるのは、市場支配力の変化です。米国産シェールオイル・ガスの登場以降、世界の石油の需給バランスの鍵を握るのはOPECからロシア、サウジアラビア、米国の3つの産油国に変わりました。</p> <p>第二に供給の変化が挙げられます。いずれ急減するだろうとの予想をくつがえし、米国は次々と記録を塗り替えながら産油量を増やし続けています。それでもある時点をもって状況は変わるでしょう。IHS Markitの分析によると、今後5～6年のうちに米国のタイトオイル5大産地であるバッケン、イーグルフォード、ニオブララ、パーミアン・デラウェアベーション、パーミアン・ミッドランドベーションの産油量が頭打ちとなる見込みだからです。</p> <p>第三は需要の変化です。エネルギー源の転換が進み、自動車等の移動体分野を筆頭に炭化水素の需要は減少するでしょう。エネルギーの需要ピークがいつになるかという問題は、今や非常に活発に議論されているテーマです。</p>

	<p>こうした流れから石油精製業各社の生産量や、石油化学ビジネスも変化していくでしょう。そしてその石油化学ビジネスもまた転換期を迎えています。しかし、この筋書きが間違いだとしたらどうでしょう。石油の新たな供給源をどこに求めればよいのでしょうか。米国はまたも予想をくつがえして産油量を伸ばし続けるのでしょうか。そしてこうした現状で利益を得るのはどの立場にいる人たちなのでしょう。</p> <p style="text-align: right;">Bob Fryklund, Chief Upstream Strategist, IHS Markit</p>
14:40	<p>探鉱ビジネスの東南アジアへの回帰</p> <p>急速な開発によって短期間で利益確保を狙う企業が、アジア太平洋（APAC）地域の主な堆積盆地で石油と天然ガスの探鉱を進めています。世界各地の類似の成功事例をもとに、これまで探鉱が進んでいなかった層位トラップ（炭酸塩層、扇状層、地層の不整合面、基盤層）の開発に成功しており、石油やガスの存在が期待できる場所であれば、辺境地さえ探鉱の対象となっています。中国が予算を 20%追加して開発に取り組むなか、世界の同業各社が APAC 地域でさらに大規模な開発プロジェクトを進めることは可能なのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">Dylan Mair, Executive Director, Technical Research, HIS Markit</p>
15:20	<p>休憩</p>
15:40	<p>APAC 及び中東地域の政策とグラウンドリスクの見通し</p> <p>APAC 及び中東地域の財政、規制及び政策等について、各地域の石油関連法の主な改正点や、直近の政権交代の影響も含めた最近の目立った動きを概説します。また、2019 年から 2020 年までに予想される変化の見通しを、今後の入札の動きから中東における紛争激化の可能性までを踏まえて石油投資のリスクとチャンスの両面を明らかにしながら解説します。</p> <p style="text-align: right;">Rachel Calvert, Associate Director, Above Ground Risk, IHS Markit</p>

16:20	<p>2019年から2021年までの世界全体とAPAC地域の経済見通し</p> <p>米国とユーロ圏の成長見通しや中国の景気減速リスクを含め、世界全体とAPAC地域の経済動向をマクロ経済学的に展望します。米中の貿易や技術の摩擦、それらがAPAC各国の経済や石油需要に及ぼす影響についても探ります。また、ASEANと南アジア地域の主な新興市場における成長機会とリスク要因を、日本経済の見通しにも触れながら考察します。</p> <p style="text-align: right;">Rajiv Biswas, Chief Economist, Asia Pacific, IHS Markit</p>
17:10	<p>閉会のご挨拶</p> <p style="text-align: right;">Smarco Ho, Vice President, IHS Markit</p>
17:15～	<p>Network reception</p> <p style="text-align: right;">IHS-Merkit</p>

※プログラムは予告なく変更される場合がありますので予めご了承ください

**「2019 IHS Markit - ICEP 合同セミナー」
参加連絡票**

日時：2019年9月3日（火） 13：30～17：15（受付開始 13：00）

参加申し込み ご担当様	
御社名・	
ご所属、部署名	
御連絡先 (Tel、Fax、メールアドレスなど)	

参加者	御芳名	所属部署・役職	Network reception
			出席・欠席
			出席・欠席
			出席・欠席
			出席・欠席
			出席・欠席
			出席・欠席

※ Network Receptionは 17：15～。

参加申し込みは、2019年8月31日（金）17:00までに送付願います。

【e-mail：support@icep.or.jp or Fax：03-4520-8667/03-5244-4499】